

Market Watching

発表日: 2020年2月10日(月)

中国国外への拡大なくとも懸念は高まる(マーケットウィークリー) ～中国景気や世界的サプライチェーンへの影響を市場は懸念～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
2月3日(月)	中国: 財新PMI製造業景気指数 (1月)	51.1	51.0	51.5	ポイント
	米国: ISM製造業景気指数 (1月)	50.9	48.0	47.2	ポイント
	米国: 自動車販売台数 (1月)	1,684	1,690	1,670	万台
2月4日(火)	豪州: 金融政策委員会	0.75%	0.50%	0.75%	RBA政策金利誘導目標
2月5日(水)	タイ: 金融政策委員会	1.00%	1.25%	1.25%	翌日物レボ金利
	ユーロ: 小売売上高 (12月)	▲1.6%	▲0.5%	+1.0%	前月比
	米国: ADP雇用統計 (1月)	+291	+155	+202	前月差、千人
	米国: 貿易収支 (12月)	▲489	▲460	▲431	億ドル
	米国: ISM非製造業景気指数 (1月)	55.5	55.0	55.0	ポイント
	ブラジル: 金融政策委員会	4.25%	4.375%	4.50%	政策金利 (Selic)
2月6日(木)	インド: 金融政策委員会	5.15%	5.15%	5.15%	レボレート
	フィリピン: 金融政策決定会合	3.75%	3.75%	4.00%	翌日物リバースレボ金利
2月7日(金)	日本: 家計調査 (12月) ・全世帯実質消費支出	▲4.8%	▲1.7%	▲2.0%	前年比
	日本: 毎月勤労統計 (12月) ・現金給与総額	0.0%	▲0.1%	▲0.2%	前年比
	中国: 貿易統計 (1月) ・輸出	延期	▲4.5%	+7.9%	前年比
	中国: 貿易統計 (1月) ・輸入	延期	+2.0%	+16.5%	前年比
	米国: 雇用統計 (1月) ・非農業就業者数	+225	+153	+145	前月差、千人
	米国: 雇用統計 (1月) ・失業率	3.6%	3.5%	3.5%	
	米国: 雇用統計 (1月) ・時間あたり賃金	+3.1%	+3.0%	+2.9%	前年比
2月8日(土)	—				
2月9日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.583	+7.7	▲13.9	▲107.8	1.495	1.571	1.692
日本	-0.040	+2.5	▲2.5	▲2.5	-0.024	-0.049	-0.121
ドイツ	-0.386	+4.8	▲10.1	▲50.1	-0.296	-0.297	-0.360
豪州	1.042	+9.0	▲17.4	▲110.7	1.110	1.162	1.199
株価							
NYダウ	29102.51	+3.0	+1.8	+15.6	28932	28292	27125
日経平均	23827.98	+2.7	+1.1	+14.8	23606	23489	22160
ユーロSTOXX50	3798.49	+4.3	+1.0	+20.6	3756	3721	3550
上海総合	2875.96	▲3.4	▲7.4	+9.8	3002	2968	2940
為替相場							
ドル/円	109.77	+1.3	+1.2	▲0.0	109.44	109.11	108.39
ユーロ/円	120.16	+0.0	▲0.6	▲3.5	121.20	120.95	120.56
豪ドル/円	73.26	+1.1	▲1.6	▲6.1	74.60	74.75	74.39
ユーロ/ドル	1.0945	▲1.3	▲1.9	▲3.5	1.108	1.109	1.112
商品市況							
WTI	50.32	▲2.4	▲26.3	▲4.4	55.99	57.63	56.86
金	1568.6	▲0.9	▲0.4	+19.8	1564	1509	1459

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (2/3~2/7) の金融市場は、新型コロナウイルスが世界的に蔓延し、深刻な影響を受けるリスクは低いとの期待から、週後半までは株に買い戻しの動きが強まり、金利は上昇含みで推移した。週初に発表された米ISM製造業景気指数が市場予想を大幅に上回る改善をみせたことをきっかけに、市場のセンチメントは強気に振れた。中国国外での感染者の拡大ペースが鈍いままにとどまっていることや、中国湖北省以外での致死率はインフルエンザを若干上回る程度にとどまっていることも、楽観的な見方を後押しした。しかし、週末には米雇用統計が市場予想を上回る好内容だったものの、未だ中国国内では感染者と死者の拡大ペースが鈍らないこと、中国の多くの地域で工場再稼働の後ずれや商業施設の閉鎖措置の拡大が続き、中国経済のみならず、世界経済への懸念の高まりから、再び慎重な見方が市場を支配するような格好で越週した。

今週のマーケットは、新型コロナウイルスに対する警戒感が再び増すことで、リスクオフ的な流れがやや強まる可能性がある。先週は、世界的な感染拡大リスクはそれほど大きくないとの見方が支配的で、これが市場のセンチメントを改善させていた。しかし、中国国内での感染蔓延の勢いは止まっておらず、これによる中国経済の下ぶれリスクや、世界的な生産活動への悪影響 (サプライチェーンリスクを含む) に対する警戒感が強まる格好で越週した。今週は、これを見極める形となるが、中国国内での収束の兆しはなく、世界的にもそろそろ感染者が増える頃との専門家の指摘は多い。一度楽観に振れただけに、一旦巻き戻しの動きに晒される可能性も否定はできない。経済指標は改善を見せ始めていることが支えとなっているが、FRB議長の見解で追加緩和を辞さない姿勢が垣間見れば、市場の安心感を高める材料にはなる。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
2月10日(月)	日本：国際収支統計(12月)・経常収支		+4,593	+14,368	億円、原数値
	日本：景気ウォッチャー調査(1月)・先行き判断DI	★	43.8	45.4	
	中国：消費者物価指数(1月)	★	+4.9%	+4.5%	前年比
2月11日(火)	英国：実質GDP(10-12月)・速報値	★	0.0%	+0.4%	前期比
2月12日(水)	NZ：金融政策委員会	★	1.00%	1.00%	オフィシャルキャッシュレート
	ユーロ：鉱工業生産(12月)		▲1.7%	+0.2%	前月比
	スウェーデン：金融政策委員会	★	0.00%	0.00%	レボ金利
2月13日(木)	日本：企業物価指数(1月)		0.0%	+0.1%	前月比
	米国：消費者物価指数(1月)・総合	★	+2.4%	+2.3%	前年比
	・コア	★★	+2.2%	+2.3%	前年比
	メキシコ：金融政策決定会合	★	7.00%	7.25%	銀行翌日物金利
2月14日(金)	ドイツ：実質GDP(10-12月速報値)	★	+0.1%	+0.1%	前期比
	ユーロ：実質GDP(10-12月改定値)	★	+0.1%	+0.1%	前期比
	米国：小売売上高(1月)・全体	★★★	+0.3%	+0.3%	前月比
	・除自動車	★★	+0.4%	+0.7%	前月比
	米国：鉱工業生産指数(1月)	★★	▲0.2%	▲0.3%	前月比
2月15日(土)	—				
2月16日(日)	—				

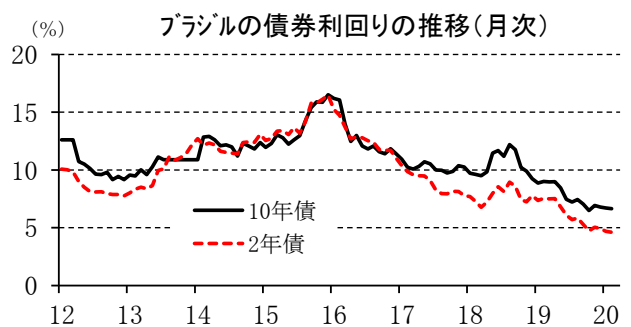
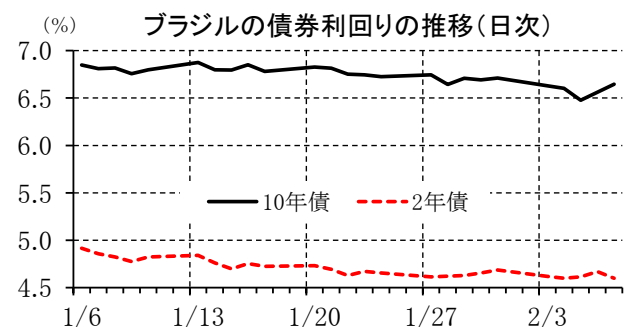
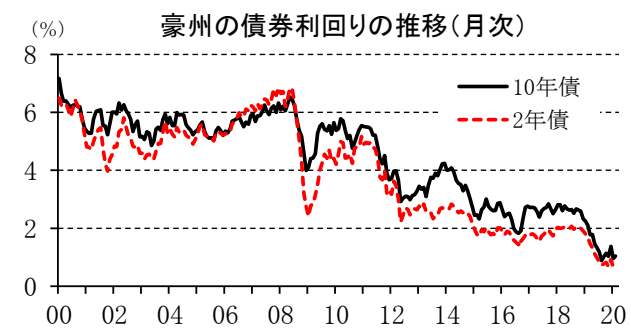
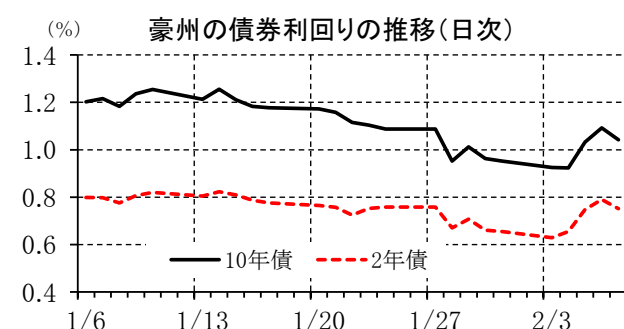
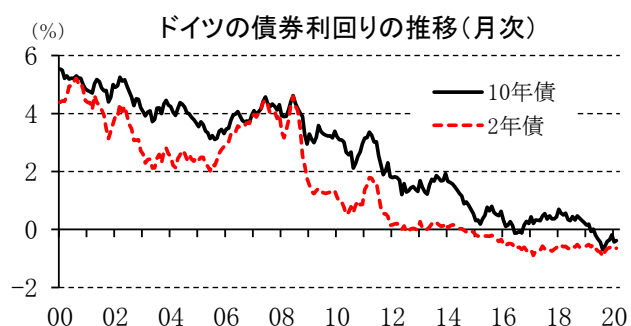
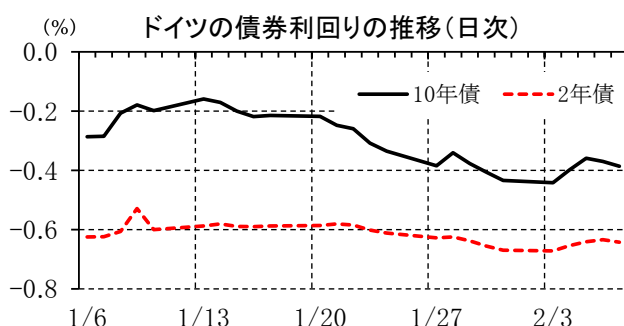
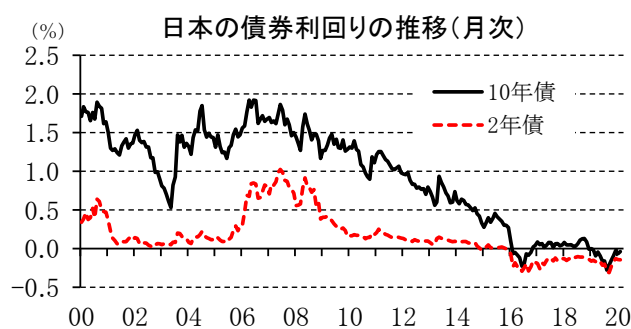
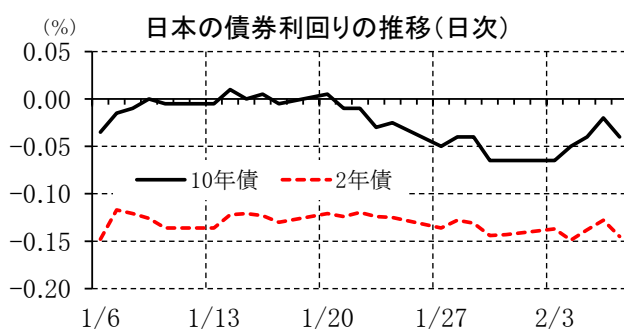
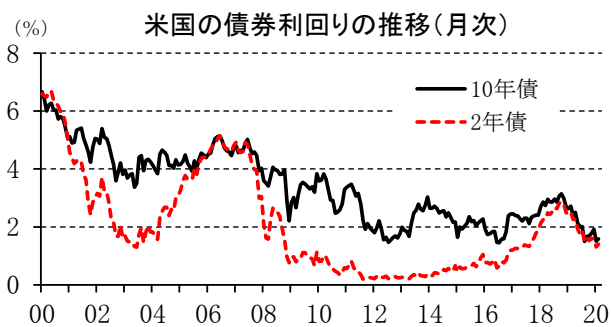
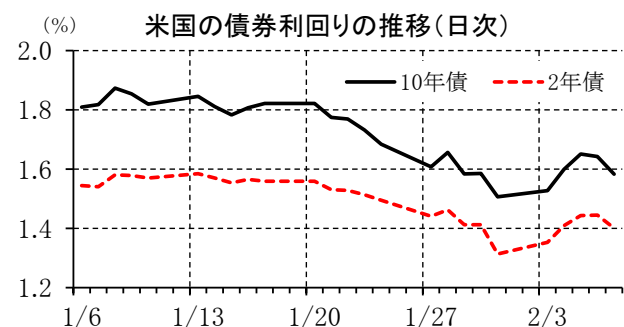
(注) 市場コンセンサスは各種バンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

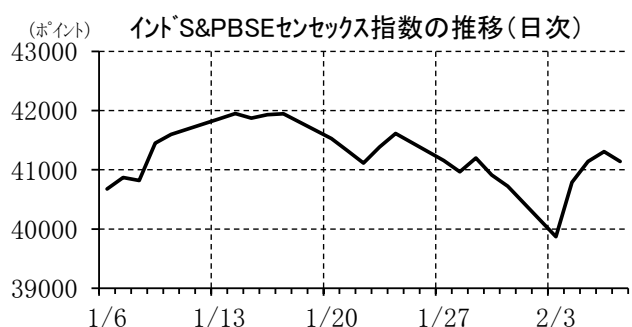
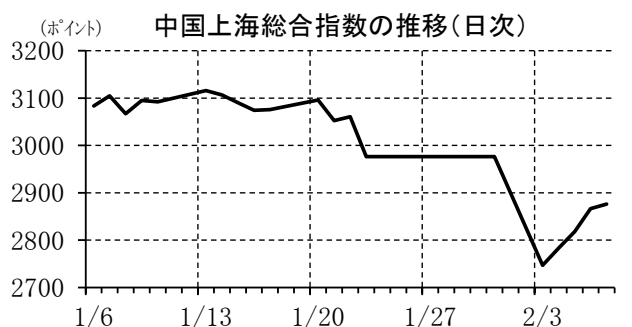
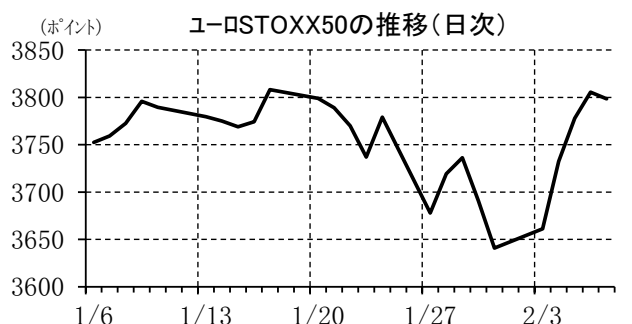
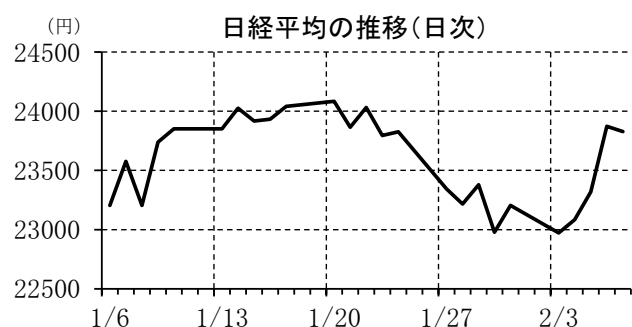
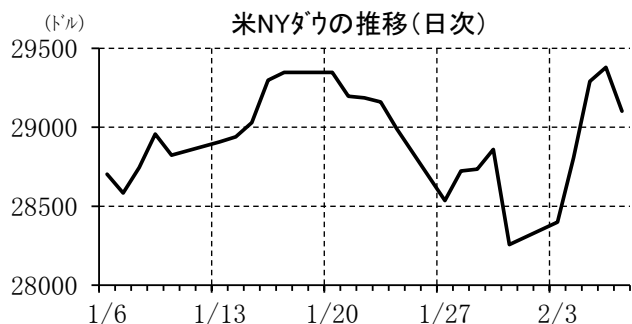
発表日	イベント	注目度	備考
2月10日(月)	米国：ホウマンFRB理事講演	★	
	米国：予算教書発表	★★	
2月11日(火)	日本：祝日		
	米国：パウエルFRB議長議会証言(下院)	★★★	
	米国：クウォルズFRB副議長講演	★	
	米国：大統領選、ニューハンプシャー州予備選(共・民)	★★★	
2月12日(水)	米国：パウエルFRB議長議会証言(上院)	★★	
2月13日(木)	米国：FRB理事指名承認公聴会	★	
2月14日(金)	日本：雨宮日銀副総裁講演	★	
	米中関税引き下げ		
2月15日(土)	—		
2月16日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

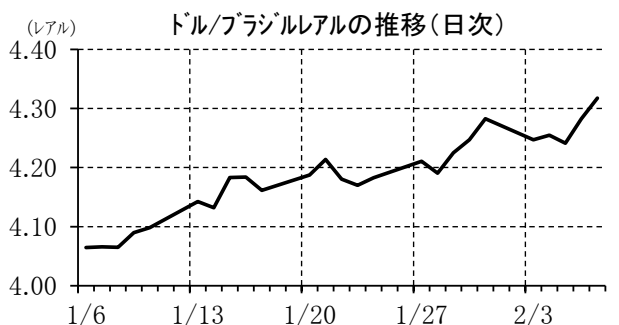
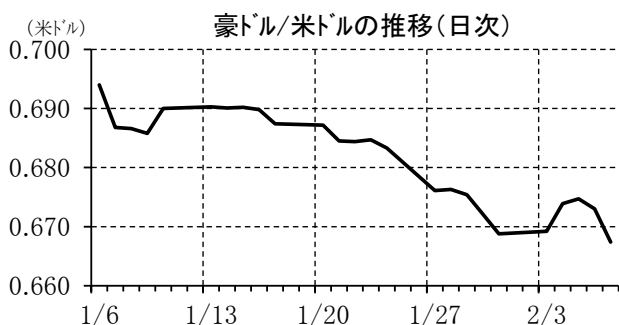
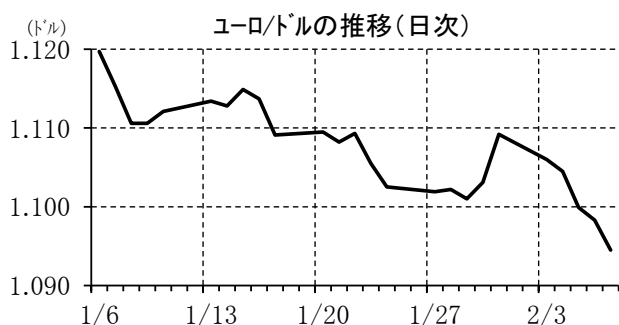
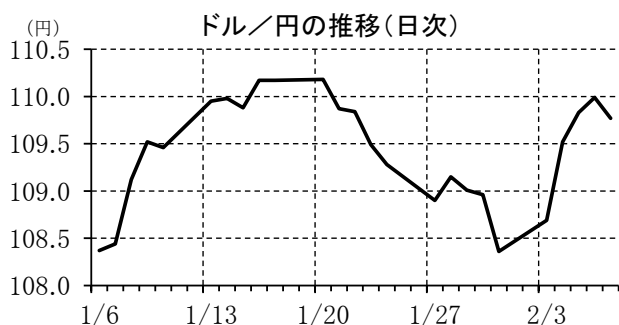
【債券利回り】



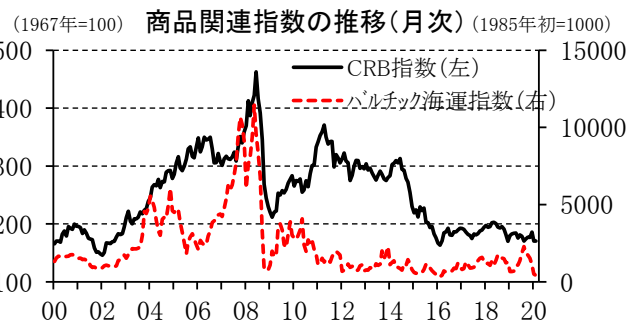
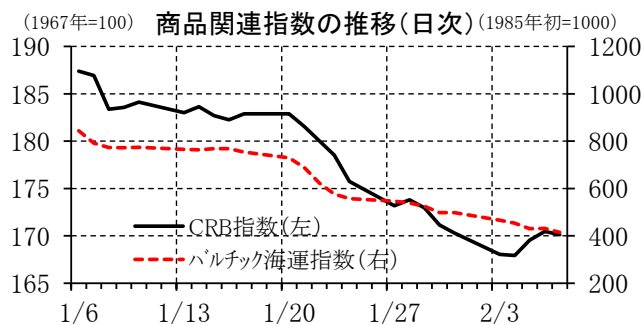
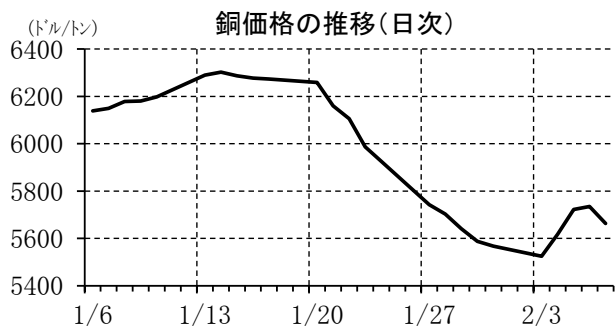
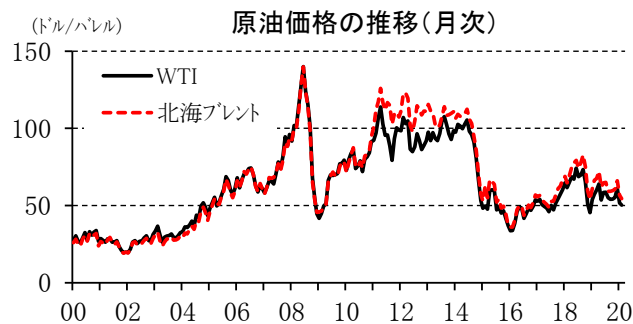
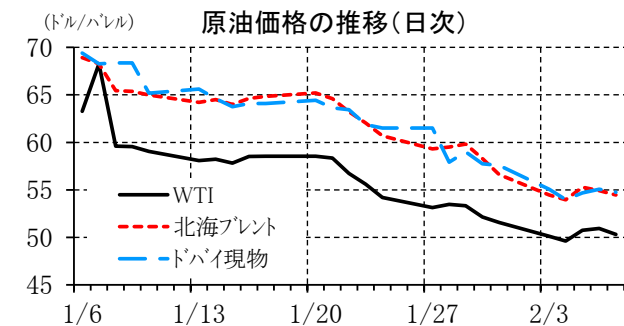
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。